

【IDWR 感染症週報】

2026 年 8～11 週までをお届けさせていただきます。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-08.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-09.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-10.pdf>

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/idwr/2026/idwr2026-11.pdf>

<発生動向総覧と状況>

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は第 7 週以降減少が続いている。過去 5 年間の同時期の平均と比較してやや多い
- ・2026 年第 1～10 週に診断された麻しんの累積報告数は 100 例で、2020～2025 年のいずれの年の同期間の累積報告数を上回った

<定点把握の対象となる 5 類感染症>

・インフルエンザ

報告数は第 7 週以降減少が続いている。都道府県別の上位 3 位は北海道 (24.13)、長野県 (23.52)、石川県 (21.36) である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は 287 例と前週と比較して減少した。都道府県別では 46 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳 (16 例)、1～9 歳 (129 例)、10 代 (38 例)、20 代 (9 例)、30 代 (18 例)、40 代 (8 例)、50 代 (8 例)、60 代 (11 例)、70 代 (20 例)、80 歳以上 (30 例) であった

・新型コロナウイルス

定点当たり報告数は第 7 週以降減少が続いている。都道府県別の上位 3 位は岩手県 (4.26)、青森県 (2.92)、沖縄県 (2.87) である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は 616 例と前週と同値であった。都道府県別では 45 都道府県から報告があり、年齢群別では 0 歳 (12 例)、1～9 歳 (29 例)、10 代 (6 例)、20 代 (6 例)、30 代 (13 例)、40 代 (12 例)、50 代 (30 例)、60 代 (54 例)、70 代 (165 例)、80 歳

以上 (289 例) であった

・急性呼吸器感染症

定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は岩手県 (105.21)、群馬県 (91.49)、富山県 (89.33) である

小児科定点報告疾患 (主なもの)

・RS ウィルス感染症

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は岡山県 (2.43)、愛媛県 (2.00)、和歌山県 (1.37) である

・咽頭結膜熱

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県 (1.40)、鹿児島県 (1.00)、京都府 (0.90) である

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県 (9.47)、北海道 (8.37)、富山県 (7.76) である

・感染性胃腸炎

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県 (11.93)、群馬県 (11.72)、秋田県 (10.23) である

・水痘

定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期 (前週、当該週、後週) の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は沖縄県 (1.28)、福井県 (0.92)、秋田県 (0.69)、滋賀県 (0.69) である

・手足口病

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は愛媛県 (0.65)、鹿児島県 (0.55)、宮崎県 (0.53) である

・伝染性紅斑

定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は岩手県 (0.85)、新潟県 (0.63)、愛媛県 (0.60) である

・ヘルパンギーナ

定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県 (0.16)、香川県 (0.15)、奈良県 (0.13) である

・流行性耳下腺炎

定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は秋田県 (0.23)、静岡県 (0.09)、福井県 (0.08)、熊本県 (0.08) である

基幹定点報告疾患

・マイコプラズマ肺炎

肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は青森県 (2.00)、群馬県 (0.67)、佐賀県 (0.67)、岡山県 (0.60) である

・感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)

定点当たり報告数は減少した。20都道府県から34例報告があり、年齢群別では1～4歳 (10例)、5～9歳 (21例)、10代 (3例) であった